次代につなぐ地域農業基盤の整備

～地域農業者の連携による北生田原地域農業の確立～

活動年次：令和３～７年度

網走農業改良普及センター遠軽支所

1　課題設定の背景 **********

対象：遠軽町安国地区　７戸・２法人

「人」：拡大志向と現状維持で、農業者の方向性は二分化
「地」：重粘土・石レキ農地が多く、作物の収量・品質不安定
「時」：個人経営の作業効率化は、途上。立ち後れ
「担」：法人を核とした担い手確保・育成の仕組みが必要

《地域の現状を鑑み、３つの課題を設定》

①労働環境の充実と安定生産

②法人の充実で効率的な農作業の展開

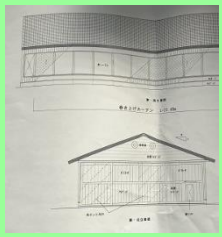
③地域営農システムの発展

2　活動の経過 **********

＜労働環境の充実と安定生産＞

課題解決に向けた取り組みを実施

- ○スリップ防止のため、牛舎通路の溝切りと通路敷料散布方法の改善を提案
- ○実習生向けの作業マニュアル整備を推進
- ○育成牛舎設計への助言、建設後の牛舎内作業効率化を検討
- ○低カリ肥料や堆肥の活用による飼料作物の施肥低減を提案



育成牛舎設計を支援

＜法人の充実で効率的な農作業の展開＞

- ○ドローン活用方法の整理、活用の方向性を協議
- ○作業効率化、生産性向上に資する農地管理ソフトへのデータ集約を提案
- ○生育に応じた秋まき小麦窒素施肥の推進
- ○大豆の適正防除、土壌pH矯正、は種量見直し、緑肥作付の検討

＜地域営農システムの発展＞

- ・新たな法人従業員、新規就農者向けの知識習得機会の提供
- ・新規就農希望者と既存農業者のマッチング・繁殖牛預託システムの検討

農地管理ソフトのデータ入力支援

作物肥培管理の見直しを検討

新規就農希望者と既存農業者の意向をマッチング

3　活動の成果 **********

＜労働環境の充実と安定生産＞

生産性向上、コスト･労働時間低減

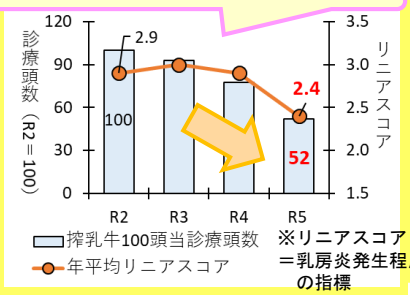
1　牛舎通路の溝切り
⇒乳房炎、労働時間減少

2　作業マニュアルの整備
⇒実習生への伝達が簡略化

3　牛舎設計助言・作業提案
⇒運営コスト、労働時間低減

4　低カリ肥料への変更
⇒肥料費・施肥量削減

診療頭数・リニアスコアは年々低下



診療頭数とリニアスコア

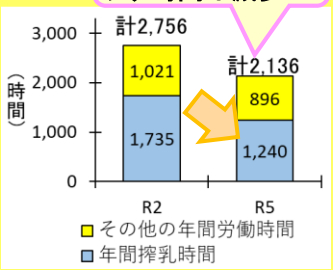
乳房炎治療牛が減って、搾乳時間は短くなったな。

肥料費、カリ施肥量

項　目	1番草肥料費	10a当たりカリ施肥量
変更前	(100)	(100)
変更後	93	50

肥料銘柄変更で肥料費と施肥量低減

総労働、搾乳に費やす時間は減少



労働時間、搾乳時間

＜法人の充実で効率的な農作業の展開＞

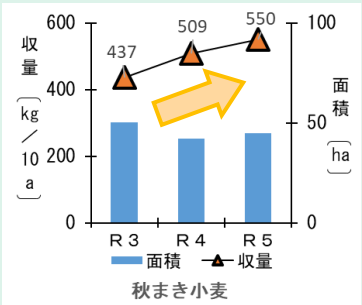
法人経営の効率化、生産性向上

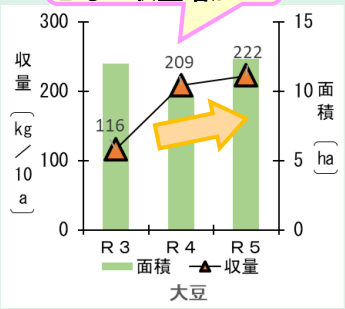
1　ドローン活用場面の整理
⇒降雨直後等、活用方法を共有

2　農地管理ソフトの活用
ほ場管理ツールの導入
⇒管理体制整備、計画策定負担軽減

3　畑作物生産性の向上
⇒前年対比収量
秋まき小麦108%、大豆106%

秋まき小麦、大豆ともに収量増加！





秋まき小麦・大豆の収量・作付面積

車両・ほ場の管理ツール導入で作業進捗を把握できて、作業計画を立てやすくなった。

＜地域営農システムの発展＞

地域交流の活性化

1　地域研修会の実施
⇒法人従業員、新規参入者の知識習得と同時に交流を促進

2　作業受委託システムの検討
⇒システム構築に至らず
しかし、今後の展開の素地に

続く受委託システムの検討、誕生に期待

研修会を通じて、作業の意味を深く理解できました。

法人雇用従業員、新規参入者が研修会に参加

4　今後の活動 **********

◆労働環境の充実と安定生産
施肥改善の効果を継続検討

◆地域営農システムの発展
法人新規雇用者、新規就農者の定着支援

◆法人の充実で効率的な農作業の展開
農地管理ソフトを活用したほ場運営の実践
適切な施肥管理、緑肥活用による生産コスト削減